

みずほCustomer Desk Report 2016/08/12号(As of 2016/08/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	101.14	1.1186	113.11	0.9738	1.3022	0.7712
SYD-NY High	102.05	1.1192	113.69	0.9765	1.3028	0.7726
SYD-NY Low	101.02	1.1135	112.72	0.9712	1.2936	0.7691
NY 5:00 PM	101.96	1.1137	113.57	0.9755	1.2955	0.7699
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		9.28/9.68	△25RR	1.240	Yen Call Over	
NY DOW	18,613.52	117.86	債券市場			
NASDAQ	5,228.40	23.82	日本2年債	-0.1960	-	
S&P	2,185.79	10.30	日本10年債	-0.0950	-	
日経平均	-	-	米国2年債	0.7420	6.0bp	
TOPIX	-	-	米国5年債	1.1444	7.3bp	
シカゴ日経先物	16,880	175.00	米国10年債	1.5593	5.2bp	
ロンドンFT	6,914.71	48.29	独10年債	-0.0930	1.6bp	
DAX	10,742.84	91.95	英10年債	0.5380	1.1bp	
ハンセン指数	22,580.55	88.12	豪10年債	1.8520	▲1.6bp	
上海総合	3,002.64	▲16.11	為替市況	USD/CNH	6.6428	0.0001
USDJPY 3M Vol	11.85	0.00%	商品市況	ドルインデックス	95.86	0.21
USDJPY 6M Vol	11.22	0.03%	CRB指数	181.990	2.44	
EURJPY 3M Vol	11.31	▲0.35%	NY金	1,350.000	▲1.90	
EURJPY 6M Vol	11.18	▲0.18%	WTI	43.490	1.78	
			Dubai Spot	40.60	▲0.67	

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
8月11日	21:30	米	輸入物価指数(前月比)	7月 0.1%	-0.4%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	266K
	-	日	東京市場休場(山の日)	-	-

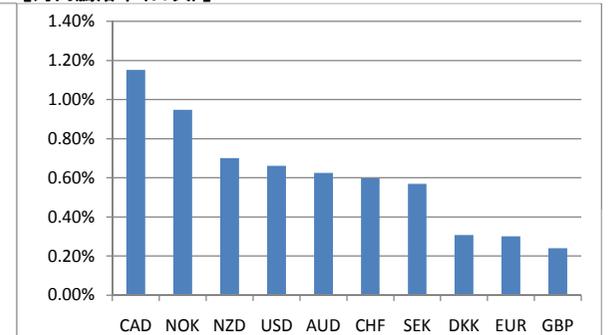
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
8月12日	8:50	日	対外・対内証券投資	-	-
	11:00	中	鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	7月 6.2%/10.5%/8.9%	6.2%/10.6%/9.0%
	15:00	独	消費者物価指数・確報値(前月比/前年比)	7月 0.3%/0.4%	0.3%/0.4%
	15:00	独	GDP・速報値(前期比/前年比)	2Q 0.2%/1.4%	0.7%/1.6%
	18:00	欧	GDP・速報値(前期比/前年比)	2Q 0.3%/1.6%	0.3%/1.6%
	18:00	欧	鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.5%/0.7%	-1.2%/0.5%
	21:30	米	小売売上高・除く自動車(前月比)	7月 0.4%/0.1%	0.6%/0.7%
	21:30	米	生産者物価指数(前月比/前年比)	7月 0.1%/0.2%	0.5%/0.3%
	23:00	米	ミシガン大消費者信頼感指数・速報値	8月 91.5	90.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.60-102.60	1.110-1.118	113.00-114.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は、アジア時間は101円台前半で底堅い値動きを見せるも、米国時間には米株高・金利上昇の動きに合わせ102円台まで円安が進行する展開。アジア時間は日本休日ということもあり、101円20-40銭水準で大きな動意は見せなかったが、米国時間には、原油及び米株の上昇に加え、米サンフランシスコ地区連銀のウィリアムズ総裁が年内に利上げを実施する必要があるとの見方を示したことで、米金利が上昇。これを受け、為替市場もドル高方向で反応し、一時102円台まで円安が進行した。ユーロドルも1.114を下回る水準までユーロ安が進んだ。足元、ドル円相場は101円90銭付近で推移し、再び102円台を割り込んでいるが、昨日の米株市場は主要3指数がいずれも最高値を更新しており、本日の日本株にも一定の影響を及ぼすものと想定され、再び102円台を試す展開を予想したい。

アジア	アジア時間のドル円は101.14レベルでオープン。東京市場が休日、かつ、先週末の米雇用統計発表前の水準までドル安が進行していたことから、小幅ながらも底堅い展開となった。アジア株が下げ止まったところでドルが買い戻される場面があるも、結局値幅46銭と狭いレンジ内での取引となり、101.40レベルで海外へ渡った。なお、アジア時間早朝にユーロ・ランド準備銀行は市場予想通り政策金利の25bp引き下げを決定した。しかし、同時に発表された声明は市場の期待ほど追加緩和に関するトーンが強く無かったため、ユーロ・ランドドルは上昇してアジア時間の取引を終えている。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は101円台前半で小動き。朝方は101.40レベルでオープンし、ポンドルの下落を主因としたドル高および米長期金利の上昇を受け101.50まで上昇したものの、その後やや反落し101.40レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3003レベルでオープンし、目立ったニュースがない中で1.2936まで下落。ロンドン時間中盤の欧州株の堅調さ、原油の反発と共にドルが再び緩むとポンドドルは1.29台後半まで値を戻し、1.2966レベルでNYへ渡った。(ロンドンフォー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NYドル円相場は101.40レベルでオープン。朝方、7月輸入物価指数は食品が押し上げ5ヶ月連続の上昇となったが為替市場への影響は限定的。また、米雇用関連指数は事前予想とほぼ一致の内容となり、米債利回りは前日比横ばい水準で推移しドル円も101円台前半での動きとなった。NY株式市場は堅調に始まりS&P500指数は8月5日の最高値を上回ったものの、リスク選好の動きは盛り上がりせず、ドル円はコア円とともにもみ合い相場となった。午後に入り、サウジ原油相が価格安定化に向けた協議に言及したことで原油が強く反応し急伸したことや、百貨店の好決算などを背景にダウ平均指数が最高値を更新する動きとなると、ドル円にも買いが誘発され一時102.05まで上昇した。ただ、米利上げに対する不透明感は根強く、翌日に米7月小売売上高の発表も予定されていることから本格的に上値を追う雰囲気ではなく、ドル円は101円台後半で小動きを続け101.96レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1147レベルでNYオープン。序盤、ドル売り優勢の展開からユーロドルは一時1.1183まで上昇したが、原油や米株値が急上昇し追いついて米債利回りも上昇したことからドル買いが加速し、ユーロドルは1.1137まで押し戻された。終盤、市場参加者が少なく薄商いとなり、ユーロドルは1.1137レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。